



週報



Rotary
第 2570 地区

入間ロータリークラブ

2019-2020 RI 会長:マーク・ダニエル・マローニー RI2570 地区ガバナー:鈴木秀憲 会長:滝沢文夫 幹事:董間和弘

第 9 号 3090 回例会 2019 年 9 月 5 日 (木)

<ビジター・ゲスト>

米山記念奨学生

李志 様



先月週秩父音頭まつりに行って来ました。最初は下手でしたが練習して上手に踊れ、とても楽しかったです。

■ R 財団寄付表彰

ポールハリスフェロー

馬路宏樹会員・田中快枝会員・後藤健会員

<今月のお祝い>

会員誕生日	間野尚君 関根靖郎君 友野政彦君
夫人誕生日	岩崎芳江様 天野幸子様 吉沢真紀子様 後藤二三江様
結婚記念日	奥富茂生君

<会長の時間>

滝沢文夫会長

今月は「基本的教育と識字率向上月間」です。このことについて話そうと思います。

世界には子供たちが基本的な教育を受けられず、成人が十分に読み書きできない国や地域があります。そうした地域で基本的教育を提供し、識字率を上げれば、そのほかの諸問題（貧困の削減、健康状態の改善、地域社会と経済の発展、平和構築など）の解決の糸口をつかむことが出来ます。



基本的教育・識字が重視される理由は何でしょうか？次の 3 つがあげられるでしょう。

1. すべての女性が初等教育を修了すれば、妊婦の死亡率は 66% 減少する。
2. 読み書きのできる母親を持つ子供は、読み書きのできない母親の子と比べて、5 歳以上まで生き延びる確率が 50% 高い。
3. 低所得国で全生徒が読み書きを習得した場合、1 億 7,100 万人が貧困からぬけ出すことができる。これは全世界の貧困の 12% に相当する。

世界的に、教育・識字の分野では進展がみられていますが、まだ多くの面で課題が残されています。世界で 5800 万人の子供が学校に通っていない。4 年間の初等教育を受けた後も読み書きのできない子どもが 2 億 5,000 万人いる。7 億 8,100 万人の成人が読み書きできない。等があげられます。

さて、地域社会のニーズを調べると、その多くは次の 4 つのいずれかのカテゴリーに当てはまります。①成人の識字教育が必要 ②子供たちが学校に通えるよう支援が必要 ③教育効果を高める支援が必要 ④教材が必要の 4 項目です。

まず、成人の識字教育についてですが、2000 年以來、読み書きのできない成人の数は減少しつつあります。しかし、世界の非識字人口は 7 億 8,100 万人(世界の成人人口の 15%)、その 3 分の 2 近くが女性となっています。それでは、識字教育について

考えてみましょう。現在の成人識字率はどのくらいかということ。成人識字率の内訳を見ると、性別、民族、所得、その他の要因による格差があるか。その場合、最も識字率が低いのはどのような人々かということ。読み書き習得の妨げとなる要因は何かということ。人びとは読み書きの習得で何が変わることを期待しているか(例;もっと良い仕事に就く、母語ではない公用語に慣れる、家計簿をつけて預金を増やす、子どもの宿題を手伝う、等)ということ。成人学習者の場合、どのようなニーズ、関心、学習歴を持つ人々か。成人にとって効果的な学習方法は何かということ。これらのことを考えると、先住民や、移民など、少数派言語を話す人びとは識字率が低い傾向にあることがわかります。こうした人々は母語による読み書きができて、地元での公用語を生活や仕事に必要なレベルで使えません。そこで、第2言語として公用語の習得を重んじる成人教育が必要です。その際、日常生活を題材とすること、参加型の学習を取り入れること、授業での支持や説明には学習者の母語を使うこと、実用的な知識も得られるようにすること、学習者にとって都合の良い時間と場所を選ぶこと、先住民や移民のための支援団体と協力することなどが、留意点となります。このような成人教育で識字率の向上が身につけば、ほかのスキルを学んで家族の生活の質を向上させることができ、子供の教育にも熱心になります。成人学習者がこうした成果を理解していれば、勉強のモチベーションもさらに高まるでしょう。

次に、学校に通っていない子どもについてですが、1990年以降、学校に通っていない子どもの数は全世界で1億200万人から5,800万人に半減しました。しかし、近年はあまり進展が見られず、2011年に小学校へ入学した1億3,700万人のうち、3,400万人(約25%)は中退の可能性が高いといわれています。子供たちが学校に通えない主な

理由は貧困、性差別、遠距離通学です。そこで、通学できない理由と解決策を考えてみます。理由：教育費を払えない。解決策：所得を増やすために親や保護者への職業訓練を行う。理由：子供が家庭の労働力になっている/子供が仕事をして収入を得る必要がある。解決策：幼い子を預けるための保育園をつくる/授業時間を柔軟に設定する理由：文化的に教育が重視されていない/教育に対して親の理解が足りない。解決策：学校教育のメリットを説明する/学校説明会を開く/宗教リーダーや地域リーダーに教育の重要性を強調してもらう/PTA組織を作る。理由：健康問題により通学できない/病気の家族を世話するため通学できない。解決策：学校での水・衛生プロジェクトを合わせて実施する/HIV(エイズ)やその他の予防可能な疾病について認識向上を図る。また、世界的には教育の男女差が縮まっていますが、中東、南西アジア、サハラ以南アフリカといった地域ではまだ格差が見られます。これらの地域で女子生徒が少ない主な理由は、女性の社会的立場が弱いこと。経済的理由(交通費・授業料、収入を得るための仕事の手伝い、等)。男性教員が圧倒的に多く、これらの教員は性差別について研修を受けていないこと。長距離通学のため、安全上の問題がある(性暴力の標的になりやすい)こと。学校に十分な衛生施設(個別トイレなど)が無いこと。などです。

教育を受けた女子は健康な生活を送り、将来に十分な収入をもたらす仕事に就くことができます。また、家族計画に基づいて家庭を築き、子どもにより良い医療と教育を提供できます。このように、女子への教育は地域社会全体の発展につながる一方で、女子が男子と同様の教育を受けなかった場合、年間10億ドル以上の経済損失があると推定されているそうです。

＜幹事報告＞

書間和弘幹事

第3回定例理事会報告

＜協議事項・報告＞

1. 11月プログラム 10月例会変更について

・10/31 60周年記念船上パーティー奮っての参加をお願いします。

2. 9/8(日) 米山梅吉記念館訪問研修旅行
李志君 白幡会員

3. 9月のロータリーレート 1\$=106円

4. 9/14(土) 豊岡中学体育祭

5. 10/10(木) 入間市戦没者追悼式 滝沢会長



●委員長報告

＜会報雑誌委員会＞

宮崎正文委員長

【横組ページ】

- ・P7-P11 基本的教育と識字率向上月間について
- ・P18-29 来年6月の国際大会ハワイ ホノルルについて



【縦組ページ】

- ・P4-8 本年9月開催のラグビーワールドカップ大会について
- ・P20 柳壇 入間南RC 大野 快三 様

＜プログラム委員会＞ 杉田宏充委員長

11月例会プログラム

11月7日

講師卓話 地区財団委員

11月14日 講師卓話 未定

11月21日 講師卓話 未定

11月28日 講師卓話

入間市クリーンセンター長

10月の変更等

10月10日 講師卓話

元米山奨学生(学友)

コチャワン・パッターマーさん

10月31日 60周年記念 船上パーティー



＜出席報告＞

吉岡信人委員長

会員数	出席数	出席率	前々回修正率
42名	26名	66.67%	73.17%

事前欠席連絡 8名

＜ニコニコBOX＞

後藤健副SAA

★9月1日のスポニチの釣りコーナーに「釣育」というタイトルで一柳家が載りました。記事を書いて頂いたのは後藤賢治会員です。「一柳達朗君」



★初のSAA頑張ります。

「後藤健君」

★早退いたします。

「宮崎正文君、杉田宏充君」

本日¥33,000

累計¥174,539

■回覧、配布物

①ロータリーの友9月号

②ロータリーの友と歩む地域

③米山梅吉記念館館報 Vol. 34

④エンドポリオキャンペーン

⑤茶の香めーる Vol. 73

⑥バギオたより Vol. 74

⑦2018～19年度ロータリー文庫決算書

⑧10/17 入間南RCとの合同例会出欠表

⑨他クラブ週報&例会変更等のお知らせ

⑩本日の卓話資料

⑪週報7,8号

細淵克則会員

「ネパール・児童の教育環境改革の為の装備品等支援プロジェクト」

今年度に入ってから
のネパール教育支援プ
ロジェクトの経緯を説
明いたします。



2019. 07. 03

RI 財団より GG1963194 補助金承認公式通知
を受領する。

2019. 07. 04

入間クラブ理事会に経緯を報告し理解を求
める。

2019. 07. 06

実行委員会で TripuresworRC と RI 日本事
務局コーディネーターの山本律子氏に幾つ
かの不明な点を確認する。

2019. 07. 08

山本氏より返答あり

1. TRF に認証された時点で地区の
DDF20900 \$ は自動的に引き落としされて
いる。
2. 入間クラブは先方提唱クラブの口座に
直接 2200 \$ を振り込み TRF が確認する、
二週間以内に TRF から先方クラブ口座に
残金が入金される。
3. 7月15日の期限は特に問題はない。

2019. 07. 11

TripuresworRC の今年度会長 Dilli Basnyat
氏とクラブ関係者で KuleshworASES に出向
き校長の Megh 氏と支援に付いて協議をす
る。そして資金の受入れ口座も準備中との
事です。

2019. 08. 09

TripuresworRC の今年度会長 Dilli Basnyat
氏よりクラブで新たに銀行口座を開設した

との通知がありました。先方提唱クラブは
入間 RC からの支援金支払いまでの間、この
プロジェクトの進行に付いて理事会メンバ
ーは他のクラブメンバー達と話し合うとの
事です。

*当プロジェクトは主に教育装備品の買付
—搬入—設置—起動にて一連の補助品の作
業は終了します。TRF への報告(モニタリン
グ)に要する期間はこのプロジェクトの場
合、資金が準備出来てから 4~5 か月で全て
終わり最終報告書を TRF に出せるものと思
われます。

*支援品の内訳

1. 理科実験室に使う備品、装備品等すべて
の機材。
2. 管理、トレーニング、装備品等の据え付
3. 13 台コンピューター
4. 13 台スマートテレビ
5. 3 台スマートボード
6. 図書館の本等
7. 図書室カーペット、カーテンその他
8. 4 台ラップトップコンピューター
9. 60 脚フェブリックデスク椅子

この時点でプロジェクトの完了を伝える書
簡が RI より各提唱クラブに送付されます。
ただし、GG プロジェクトが VTT や建物建築
や水の為の環境造成などでは時間を要す為
に完了報告まで 1.2 年掛かることがありま
す。これは地区の財団委員長茂木氏に確認、
因みに 2016-17 年度に高柳ガバナーが 2570
地区で唯一実行したアフリカでの GG は資
金受理から 3~4 か月で終了報告しました。

●最後に質疑応答が行われました。

発行 入間ロータリークラブ

- 事務所: 〒358-0023 入間市扇台 3-3-7 ハイッ斎竹 101 号 Tel. 04-2964-1700 Fax. 04-2965-5788
- Email iruma-rc@jupiter.plala.or.jp
- 例会場: 丸広百貨店入間店 6F バンケットホール Tel. 04-2963-1111
- 例会日: 木曜日 12:30~13:30 ■会報委員長: 宮崎正文

